

授業概要

多様な欲求が存在することを知り、生物学的な欲求行動と社会的な欲求行動についての理解を深める。心理学的な見地から欲求と行動の関係性を知ることに加え、その奥には個々人なりの認知や意識があることを理解する。

テーマ毎の社会動向や研究知見から学び、自身の欲求に関する理解や対処など社会生活に応用することもねらいとする。

授業計画

第 1 回	ガイダンス(授業の進め方, 欲求・行動心理学とは)
第 2 回	さまざまな欲求
第 3 回	自尊感情の揺れと適応
第 4 回	先延ばしの心理
第 5 回	大学生における労働, ブラックバイト
第 6 回	ファン心理
第 7 回	恋愛関係(相互依存や悩み・解決法)
第 8 回	サークル集団への所属意識
第 9 回	アディクション(依存)
第 10 回	ネットやメディア
第 11 回	薬物, 飲酒, 喫煙行動
第 12 回	ニーズ(欲求)と感情表出
第 13 回	欲求・行動に潜む認知
第 14 回	ネガティブな影響とポジティブな影響
第 15 回	全体総括
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・個人に起こりうる欲求や、欲求と行動の関係性に関して理解できる。
- ・欲求は認知や態度にも影響を与えていることを理解できる。
- ・欲求が病気や健康とも関わりがあることを理解できる。

履修上の注意

- ・講義だけではなく、グループ討議やワーク演習など学生参加型の学修時間があることを理解したうえで履修すること。
- ・授業中の私語、授業と関係しない作業(携帯等の使用など)を禁止。30 分以上の遅刻は欠席扱い(電車遅延など合理的理由がある場合は、証明書の提出を)。
- ・受講学生の希望や状況、進み具合により、授業計画の順番を入れかえることや、内容を一部変更することもある。

予習・復習

- ・毎回、最後にポイントを確認する時間を取るため、復習に役立てること。
- ・ワークシート課題など、予習(宿題)を設定する回もある。

評価方法

授業内レポート 30%、授業態度 10%、中間レポート 20%、定期試験 40%を総合的に判断する。

テキスト

教科書指定はなし。授業用資料を毎回配布し、参考図書を適宜紹介する。